



報道解禁：テレビ、ラジオ、インターネット 令和4年9月29日（木）14時

新聞 令和4年9月29日（木）夕刊より

デパート・スーパー食品売場のライブ中継による 食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン」を実施！

◆発表のポイント

- ・デパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン」を実施します。
- ・期間は、食品ロス削減月間（10月8日～31日）、参加店舗は、デパート・スーパー6店です。
- ・キャンペーン中の利用実績データに基づき、食品ロス削減効果等を検証し、データサイエンスを活用して食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。

食品スーパー等で発生する食品ロスの削減の取り組みとして、岡山大学低炭素・廃棄物循環研究センター、岡山大学公認クラブ(校友会)のDS(データサイエンス)部・環境部 ECOLO、岡山大学 SDGs アンバサダーの4者協働の企画・運営により、デパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間は、食品ロス削減月間の10月8日～31日です。

趣旨に賛同いただいた6事業者・店舗の食品売場にライブカメラを設置し、その中継画像(静止画像)を配信するとともに、画像内の商品名・価格・割引率等のデータを提供するスマートフォン用のシステムを開発しました。希望の店舗・食品カテゴリを設定すれば検索も可能です。中継画像の配信は、10月8日より「のこり福キャンペーン」ホームページ (<https://www.nokorifuku.com>) にて公開します。

本キャンペーン期間中の利用実績データ等に基づいて、食品ロス・温室効果ガスの削減効果を検証するとともに、データサイエンスを用いた解析等を通じて食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。

■発表内容

<取り組みの背景・目的>

岡山県によれば、県内の2019年度の食品ロス発生量は約12.7万t、うち食品小売業から1.1万tと推計されており、その発生抑制・利活用の推進が大きな課題となっています。

本取り組みは、①岡山における食品ロス削減の人的・社会的なネットワーク形成、②食品売場のライブ中継システム開発による割引情報の見える化、③データサイエンスを活用した食品ロス削減、の3つの側面に取り組み、食品ロスの発生抑制・利活用推進に向けた社会的・情動的・科学的基盤を構築することを目的とします。

具体的には、デパート・食品スーパー等の賛同企業を募り、その食品売場にライブカメラを設置して中継画像(静止画像)・商品名・価格・割引率等のデータを配信するスマートフォン用のシステム



PRESS RELEASE

を開発します。幅広い市民の方々にお買い得な割引食品の情報を随時提供して見える化することを通じて、その購入をサポートし、売れ残りを防ぐことを目指しています。また、システムの利用実績データ等に基づいて、システムによる食品ロス・温室効果ガスの削減効果を検証するとともに、データサイエンスを用いた解析等を通じて食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。

<取り組みの内容>

- 食品スーパー等で発生する食品ロスの削減の取り組みとして、岡山大学低炭素・廃棄物循環研究センター、岡山大学公認クラブ（校友会）のDS（データサイエンス）部・環境部 ECOLO、岡山大学 SDGs アンバサダーの4者協働の企画・運営により、デパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間は、食品ロス削減月間の10月8日～31日です。
- 本キャンペーンの実施にあたり、趣旨に賛同いただいた下記6事業者・店舗の食品売場にライブカメラを設置し、その中継画像（静止画像）を配信するとともに、画像内の商品名・価格・割引率等のデータを提供するスマートフォン用のシステム（下図）を開発しました。希望の店舗・食品カテゴリを設定すれば検索も可能です。（注：文字の自動認識機能（AI-OCR）は未搭載です）



- 参加事業者・店舗は、(株)岡山高島屋、岡山大学生活協同組合・ブックストア、生活協同組合おかやまコープ・東川原店、(株)天満屋ストア・ハピーズ津島店、(株)フレスタ・フレスタ津島店、両備ホールディングス(株)・森のマルシェ柳川店の6店です。
- 一部の参加事業者・店舗では、キャンペーン期間中にシステムを利用いただいた方に割引・ポイント還元のコピー券を発行します。利用者は、システム上に表示されるクーポンを店舗レジで提示することで特典を受けられます（参加事業者の会員登録が必要な場合があります）。
- 本キャンペーン期間中の利用実績データ等に基づいて、食品ロス・温室効果ガスの削減効果を検証するとともに、データサイエンスを用いた解析等を通じて食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。
- 本キャンペーン期間終了後、参加事業者の方々と情報共有・意見交換を図り、食品ロス推進に向けた課題・解決策等の議論を深め、食品ロス削減・利活用の取り組みの定着・さらなる拡大を図ることを目指しています。



PRESS RELEASE

- 本キャンペーンの名称は、環境部 ECOLO の部員・ノートルダム清心女子大学 2 年生藤井朱梨さんが提案した案を採用しました。

<社会的な意義>

本取り組みで開発したシステムにより、幅広い市民の方々にお買い得な割引食品の情報を見える化することを通じてその購入をサポートし、売れ残り＝食品ロス等を削減できることが期待されます。また、データサイエンスを用いたシステム利用実績データ等の解析等を通じて食品ロス削減に役立つ知見を科学的に明らかにすることができるものと期待されます。キャンペーン終了後に参加事業者の方々とうこうした情報の共有・意見交換を図り、食品ロス推進に向けた課題・解決策等の議論を深め、食品ロス削減・利活用の取り組みの定着・さらなる拡大を図ることを目指します。

■参考

岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業・岡山食品ロス削減プロジェクト
「のこり福キャンペーン」ホームページ（10月8日～公開）

URL : <https://www.nokorifuku.com>

■研究資金

本事業は令和4年度岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業の補助金、及び科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「エシカル消費に関するベイジアンモデリング及び行動変容への応用に関する実証研究」で実施しました。

<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院・環境生命科学学域
准教授 松井 康弘
(電話番号・FAX) 086-251-8991

